

平成19年度 NPO 法人日本禁煙学会通常総会議事録

< 1 > 日時：平成19年2月10日 午後5：00～7：00

< 2 > 場所：京都市中京区堀川通2条城前 京都全日空ホテル嵯峨の間

TEL 075-231-1155 FAX 075-231-5333

< 3 > 出席者数 28名、委任状数 13名、合計 41名で総会は総数の45名の過半数で成立している。

< 4 > 審議事項

第1号議案：議長の選任

第2号議案：議事録署名人1名、書記1名の選任

第3号議案：18年度の事業報告、決算

第4号議案：18年度のその他の活動報告

第5号議案：19年度の事業計画と予算

第6号議案：総会開催報告 (2/10 - 2/11 田中善紹会長)

第7号議案：理事、監事の選任

第8号議案：顧問選任と評議員増員の報告

第9号議案：今年度の活動目標

< 5 > 議事の審議内容及び議決の結果

第1号議案 議長選任の件

総会の議長を副理事長岩瀬光とすることを提案し全員が了承した。岩瀬光は議長席に着き、午後5時00分「NPO 法人日本禁煙学会平成19年度通常総会」の開会を宣言した。

第2号議案 議長は議事録署名人を栗岡成人（なりと）、書記を山本蒔子とすることを提案し、承認を全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。

第3号議案 18年度の事業報告、決算の件

会計理事岩瀬光が平成18年度の事業報告、決算の説明をした。監事村手孝直が決算に問題のないことを表明した。議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。

第4号議案：18年度のその他の活動報告の件

理事長作田學が平成18年度のその他の活動報告を行った。

会員数 700人 (2007/1/29) 732人 2/9

禁煙指導専門者認定 189名(2007/01/29) 215人 2/9

日本禁煙学会雑誌の発刊 2006/11月より毎月1回発行

禁煙学を南山堂から発刊

各種のアクションを起こした(2回の記者会見)

介護施設の禁煙、ニコチンパッチの保険適応、FCTC、屋外の禁煙、裁判など

記者会見は2006年10/31 数値目標 2006年11/16 週刊ポストの記事

厚労省の対策官と協議をおこなった(2回)

元FDA副長官 Mitch Zeller氏と会談、アメリカ対癌協会と懇談など

Financial Times, Wall Street Journal などのインタビュー

議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。

#### 第5号議案：19年度の事業計画と予算の件

会計理事岩瀬光が平成19年度事業計画と予算について説明した。議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。

第6号議案：総会開催報告が行われた。(2/10-2/11 田中善紹会長) 議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。

#### 第7号議案：理事、監事選任の件

NPO法人になってからの理事、監事の任期が平成19年2月10日切れる(定款附則3項)ため、理事会で理事、監事の推挙(定款14条)を行い、現在の理事、監事を全員再任との結論になった。このことにつき議長が承認を総会全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。任期は明日より2年間となる。そして、理事作田學、岩瀬光、清水央雄、秦温信、松崎道幸、山本蒔子、平間敬文、栗岡成人、菌潤、山岡雅頭、高橋正行、野上浩志、津田敏秀、大橋勝英、藤原久義、坪井榮孝、黒木俊郎、垣添忠生と監事村手孝直が就任を受諾した。

#### 第8号議案：顧問選任と評議員増員の報告

理事長作田學が顧問となった久常節子 日本看護協会長と大久保満男 日本歯科医師会会長の紹介を行った。

次いで新たに評議員となった北田雅子、宇加江 進、片山 律（弁護士）の各氏を紹介した。

第9号議案：今年度の活動目標の件

理事長作田學が以下の説明を行った

（日本禁煙学会）

1. 毎月1回禁煙学会雑誌を発刊
2. メーリングリスト quit を維持・発展させる  
通信を毎月発行
3. 専門医等認定試験をし、認定（8月東京，11月京都）
4. 専門医の更新の要件をきめる 2007年8月までに
5. 各種委員会の活動を活性化する  
ホームページの会員のページに講演用のスライド・ビデオをおいて活用を図る  
禁煙学会雑誌に禁煙治療レポートを掲載，診療のコツなどを連載する  
自販機問題（見えないところ，夜間消灯など，対策を厳正に求める）等
6. 各地の禁煙団体と連携を深める
7. 「これでタバコをやめられた」を世論時報社から発刊（4月頃）
8. 会員拡大のアイデアを募る。（現在は700名，今年末までに1000名目標）
9. 厚生労働省や国内の関連団体（対がん協会など），WHOと連携する

general policy

3 G（Global science, Gaiatsu, Grass roots movement）

（global science）

1. 4月に施行される「がん対策基本法」への対応

2. 日本禁煙学会総会 開催（東京，国立がんセンター 8月 金子先生）
3. 禁煙治療の保険適用の評価・見直しに備える
4. 生命保険の非喫煙者の過負担の実態把握調査・導入要請
5. 正確な知識を広く伝える．デマ・不正確な報道に対して速やかにアクションをおこす

（外国との連携・外圧）

1. Globalink に加盟する．（作田， 藺， 山岡， 松崎）
2. ホノルル大学の Levin 準教授と大阪でミニシンポジウム（3月3日）
3. パッケージ等の注意表示の評価が3月までになされる/改定は？  
タバコデザインコンテスト（3月～7月， 8月に発表：作田学）
4. F C T C の第2回締約国会議が6/30～にバンコクである  
F C T C の shadow report 委員会でレポート（3月）（藺潤先生）  
F C A と協調しておこなう．
5. 5月31日世界禁煙デー
6. 台湾で APACT 10月17日～21日
7. その他外国の諸団体と連携をとり，禁煙を推進する

（grass roots）

1. 健康に優しいホテルの全国評価（8月に発表：秦温信，山田修久先生）
2. 都道府県喫煙対策評価委員会報告（8月に発表：加藤一晴先生）
3. 国民投票法案からみで成人を18歳に引き下げる動きが出てくるか。  
注意をして見守る．
4. 税制論議が本格的になされる（恒常的なタバコ税上げを入れ込む必要）
5. 2008年春から I C カード式自販機が導入され始める．対策を講じる
6. J T 発表の喫煙率は？ 若い女性の喫煙率を評価し，低減に向けて努力する
7. 受動喫煙防止の拡大・アクションの広がりをサポートする

8. タバコの害にかかわる裁判を応援する.

議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無くこれを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成19年2月10日

議長 岩瀬 光 印  
議事録署名人 栗岡成人 印

その他

野上 活動の自己評価について発言 特にC評価について

渡辺 横浜たばこ裁判の支援状況

岡本 受動喫煙症が労災として認められないか弁護士として進める

藺はじめ 地方自治体で顕著な活動をしたところに賞をあげる。日本で初めてたばこ自動販売機撤廃を決めた深浦町を町長の命日12/8に表彰するのは？

作田 実現の方向で検討する

森田 支部の支援はどのようにするのか

作田 都道府県単位でつくり1箇所につき5万円を支援する

森田 現在ある団体はどうするのか

作田 特に枠組みは決めていない

戸田 支部はどのような形にするのかNPOか？ NPO法からは、東京都に申請している日本禁煙学会では、NPOの支部を作れない、内閣府に申請が必要となる。

岩瀬 申請はいまのまま

森田 公認が良いと思う 支部を作るには法的なバリアがある

岩瀬 公認の方向で検討する

野上 「がん対策基本法」には喫煙対策が入っている。国は地方に下ろす方向。地方計画を作るのに、提案が出来る 大阪府に提案を考えている

渡辺 中教審の会長に山崎正和氏になった。人事に異議ありの声をあげて欲しい

金子 次回の総会は、8月にがんセンターで、開催する

田中 マークさん夫妻の交通費基金のためグッズ販売するので、協力を

大橋 マークさん軌跡を入れたDVDもある